

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

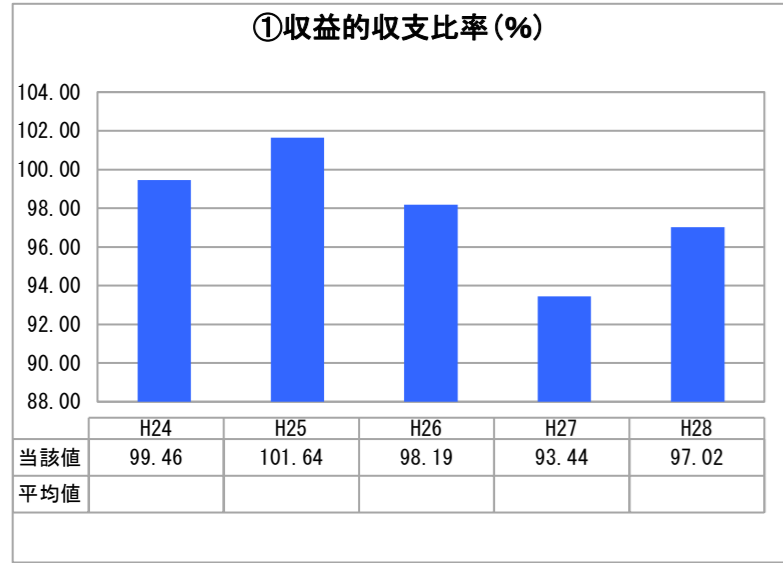
三重県 御浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	26.76	115.02	2,910

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
8,972	88.13	101.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,379	0.79	3,011.39

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



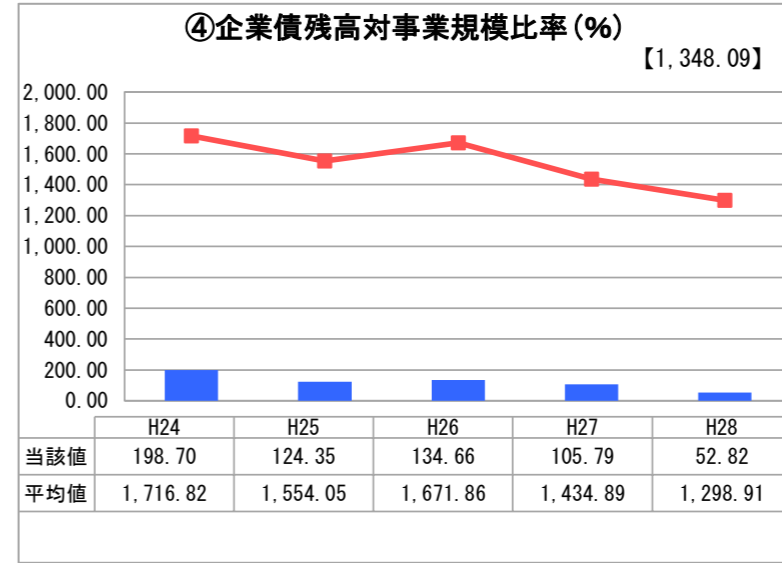
「単年度の収支」



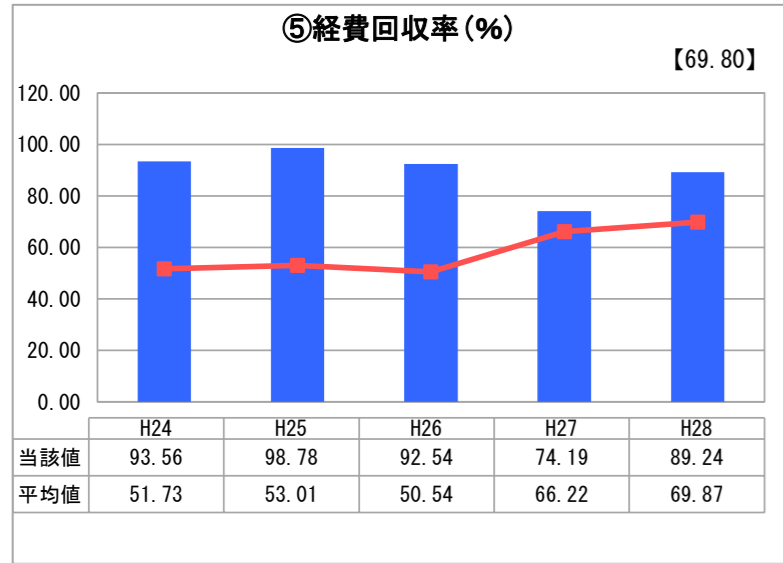
「累積欠損」



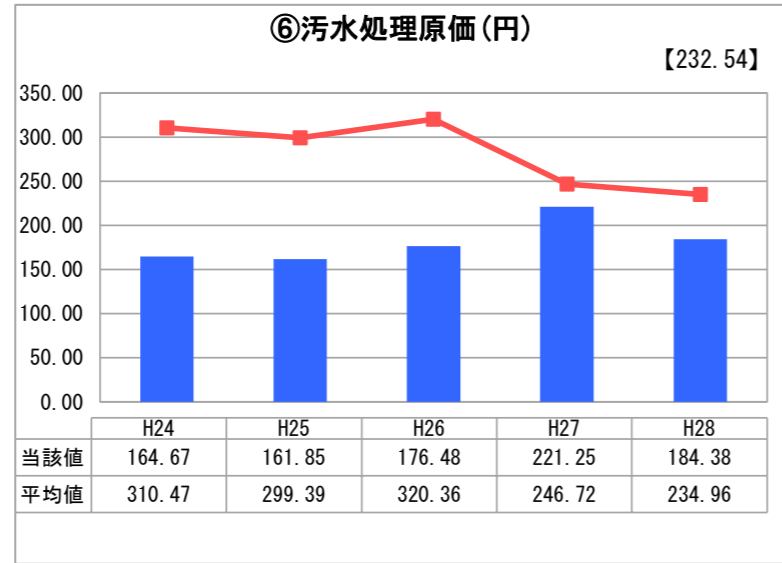
「支払能力」



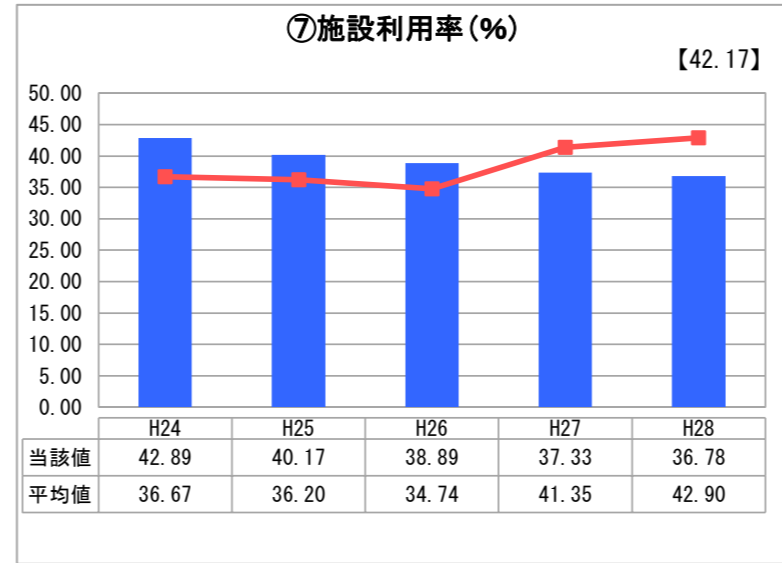
「債務残高」



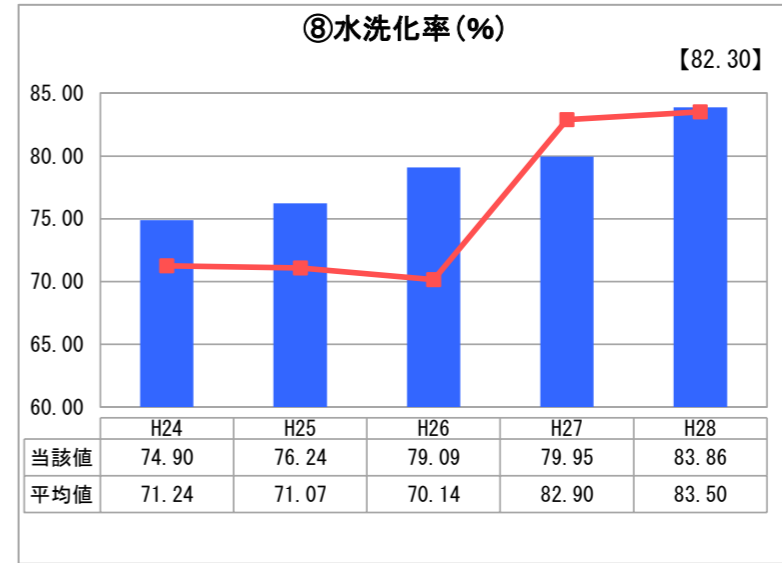
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

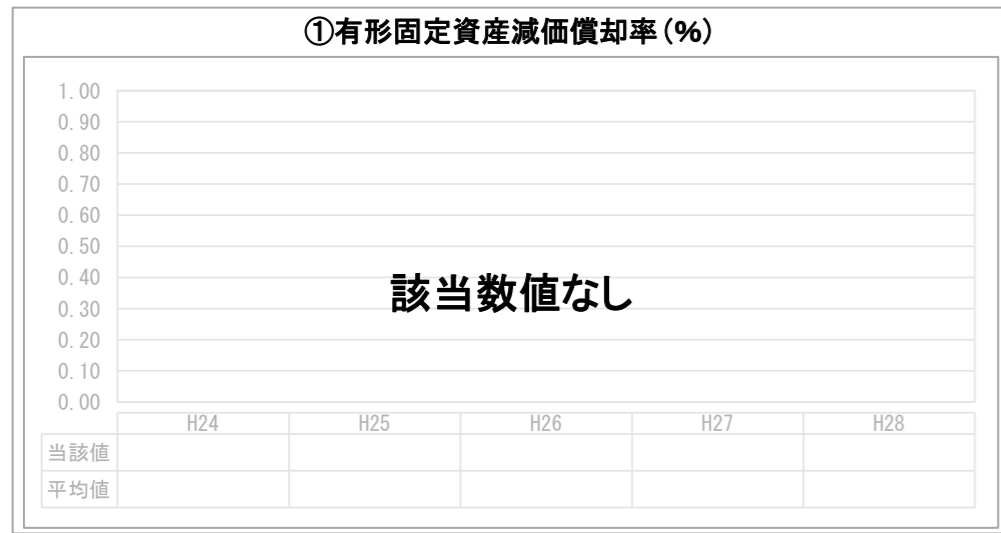


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

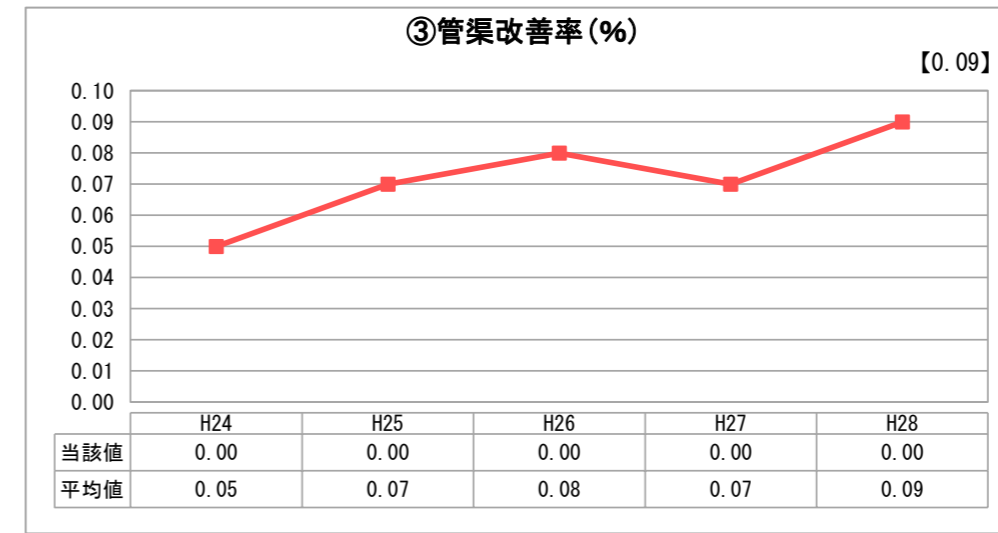
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、平成24年度の使用料の改定により、100%に近い水準に達していたが、近年減少傾向である。また施設利用率は50%以下で減少傾向である。これらの原因として、人口減少、節水型設備の普及等により、流入汚水量が計画値より減少しているためと考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

平成12年の供用開始から17年を経過しているが、管渠施設の耐用年数には達していないため、当面管渠の改善は必要なと判断する。しかし、処理場及びマンホールポンプ場の電気、機械設備については、耐用年数に達しているものもあり、長寿命化計画を策定し、計画的に施設の改築更新を実施している。

### 全体総括

使用料の改定により、収益的収支比率は100%に近い水準を保っていたが、流入汚水量の減少により、使用料も減少が続いている。また処理場及びマンホールポンプ場の電気、機械設備については、耐用年数に達しているものもあり、施設の改善を行うための費用が必要である。以上より、今後より一層の経費削減、料金改正の検討が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。